

# 電子市役所の 推進について

## 代表質問



政友会第二  
前野 良三 議員

# 地域公共交通の 充実について

**質問**…ICT<sup>※</sup>を活用した今後の具体的な計画について伺います。

**答弁**…平成25年8月に策定した大田原市地域ICT総合推進計画に基づき、平成28年度末までに31事業に取り組む計画としており、今年度は、SNS<sup>※</sup>活用による情報発信の強化として、ユーチューブでの動画配信、ツイッター及びよいちメールでの情報発信を新たに開始し、また、住

民票のコンビニ交付を始めるなど、今年度末までに29の事業に取り組んできました。

今後は、平成28年度がICT総合推進計画の最終年度になるため、残りの事業に取り組むとともに、新たに第2次ICT総合推進計画を策定し、さらなるICT化を進めていきます。

**質問**…文書管理システムや決裁システムを導入する考えがある

か伺います。

**答弁**…庁内文書の電子化及び庁内庶務のペーパーレス化については、今後ICT化を導入し、活用する上で重要な課題の一つと考えており、次年度において策定予定の第2次大田原市地域ICT総合推進計画において導入を計画したいと考えています。

※ICT：情報・通信に関する技術の総称

※SNS：登録された利用者同士が交流できるウェブ

サイトの会員制サービスのこと

**質問**…デマンドタクシーの運行地域拡大について伺います。

**答弁**…デマンド交通事業は、平成25年4月から実証運行期間を経てワゴン車両3台により、黒羽地区で運行しています。運行

片道300円となります。平成26年度の実績は、利用者が約7700人で、対前年度比は利用者及び収入とも40%増となっております。地域に定着したものと考

効率性の向上及び地域の特性に合ったデマンド交通などの他の公共交通の可能性も様々な角度から検討し、来年度策定予定の地域公共交通網形成計画に活かしたいと考えています。また、

方式は、利用者登録をした方が予約をして自宅付近の乗降場から市があらかじめ指定した行き先までの間を運行するものであり、運行数は1日9便で運賃は

今後の運行計画については、現在の計画で実施してきた取り組みについて実態検証や利用アンケートなど現況実態を評価分析し、今後の路線バスの利便性、

その中で現在のデマンド交通の区域以外の地区でも導入の可能性について検討していきます。